

《2018 年 9 月幹事会 企画幹事資料》

【議題 4】2019 年 1 月例会・新年会、2019 年 4 月例会の準備状況

1. 2019 年度 1 月例会・新年会

開催日：2019 年 1 月 18 日(金) 13:30～16:30（新年会 17:00～19:00）

場 所：東京ガーデンパレス（東京、御茶ノ水）

講 演	演題・所属・氏名	備 考
一般講 演	1) 13:30～14:15 「バイオ後続品の薬物動態研究における質量分析の活用検討」 日本化薬株式会社 医薬研究所 薬物動態チーム 丹羽 誠 先生	済 演題 済 演者 済 ご略歴
	2) 14:15～15:00 「創薬初期段階におけるクリアランス経路の活用」（仮題） 日本たばこ産業株式会社 医薬総合研究所 薬物動態研究所 朝比奈 幸太 先生	済 演題 済 演者 済 ご略歴
	特別講 演 15:15～16:15 「オミクスの網羅的・定量的解析によって拓かれる創薬・動態研究」 熊本大学大学院生命科学研究部 微生物薬学分野 教授 大槻 純男 先生	済 演題 済 演者 済 ご略歴
	司 会 塩野義製薬	

特別講演：

バイオ・分析関連の先生として熊本大学大槻教授を提案し、メール審議で承認を得た。杉山先生より打診して頂き、発表の快諾を得たが、1/19 から行われるセンター試験の監督になる可能性があり（11 月頃に判明）、宿泊して新年会に参加して頂けるか、最終便で直帰されるかは未定（東京ガーデンパレス内にお部屋を確保済み、直帰の場合はキャンセルする）。

2. 2019 年 4 月例会

開催日：2019 年 4 月 19 日（金）、13:30～16:30

場 所：千里ライフサイエンスセンター（大阪）

一般講演：

・会員名簿は日本新薬、日本チャールス・リバーの順。両社に 4 月例会でのご講演を打診した。日本新薬からは発表快諾の返事を頂いた。日本チャールス・リバーからは「弊社はヒト肝細胞の販売代理店を実施していた際、勉強する必要がある、皆様にお世話になりました。大変恐縮に存じますが、現時点では、ヒト肝細胞の販売を実施しておりませんので、退会させていただければ幸いです。」との回答を得た。日本チャールス・リバーに替わる 4 月例会での講演として、日本ベーリンガーインゲルハイムに講演を打診した。

特別講演：

- ・特別講演者は一般講演の内容と関連した先生の選定を検討する。

協議事項：

- ・日本チャールス・リバーさんの退会について
 - ✓ 2009 年に入会され、過去に主幹事および例会での発表のご経験はないようです。
 - ✓ 再度確認しましたが、退会する方針に変わりはないとのことでした。（創薬支援会社は発表不要（発表の権利はあり、ペナルティ無し）となったとしても退会の意思は固いですか？とお伺いしましたが、方針に変更はないとのことでした）
 - ✓ 退会についてご了承いただければ、11 月幹事会で形式上の退会届の承認を頂く予定です。
- ・日本チャールス・リバーさんのペナルティーについて
 - ✓ 「今回の件は、弊社の対応に不備があると考えています。発表するテーマならびに人物がおりませんので、例会におけるサポートなどはお手伝いさせていただきたいと存じます。」とのご連絡を受けました。
 - ✓ 常任幹事（久米様、千葉様）および企画幹事としてはペナルティーは不要との見解です。このようなペナルティーで入会を躊躇されているケースもあるとのこと。議論をお願いいたします。
- ・創薬支援会社の例会での講演辞退時の対応について
 - ✓ ご参考までにここ 2 年の創薬支援会社のご講演ですが、2016 年にジェノメンブレンさん、住化分析センターさん、積水メディカルさん、2018 年に日本ウォーターズさんはご発表されています。新日本科学さんは夏のセミナー運営を担当するため、講演免除となりました。
 - ✓ 創薬支援会社に限らず、一般講演の発表困難と返事があった場合の対応は以下のようになっています。
 - ① 何時なら可能かを問い合わせ、発表する例会を仮決定する。
 - ② 諸事情でどうしても不可の場合（社内規定、秘密保持契約（守秘義務）、該当演題なしなど）は、年会でのサポート（名札作成やプログラム・講演要旨の印刷）又は各例会での受付を代替業務として提示する（年会の要旨集の印刷を依頼することが多い）。
 - ✓ 創薬支援会社が発表困難な場合には、例会での受付のみを代替業務として提示するなどより負担の少ない運用か、ペナルティーを課さない運用などを考えても良いかと思います。議論をお願いいたします。

【議題 5】2018 年度 第 41 年会の準備状況

開催日：2018 年 11 月 15 日(木)～16 日(金)

場所：アクトシティ浜松（浜松）

1. 年会プログラム進捗報告（プログラム最終版：添付資料 1、ポスター最終版：添付資料 2）

- ・メールベースでプログラム・ポスターの最終化の承認を頂き、会員企業へ案内済み。
- ・要旨及び Key Slide を入手中（9/20 締め切り）。
- ・本間光貴先生、内藤幹彦先生は 15 日の夜に遅れて到着されます。本間尚子先生は 16 日のお昼前までには到着されます。そのためお三方のショーケースでのご発表は skip となる予定です。
- ・各演者の準備状況

講演・講演者(所属、氏名)	役割	来場日	宿泊	11/16昼食	交通経路	備考
特別講演(がんプレジジョン医療研究センター 中村 祐輔 先生)	講演者	11月15日	要	要	確認中	
基調講演(京大 藤本 明洋 先生)	講演者	11月15日	要	要	確認済	
基調講演(理研 本間 光貴 先生)	講演者	11月15日	要	要	確認済	遅れて到着
一般講演①(武田薬品工業 遠山 季美夫 先生)	講演者(企業)	11月15日	要	要	—	謝礼辞退
一般講演②(帝人ファーマ 半田 耕一 先生)	講演者(企業)	11月15日	不要	要	—	ご自身で宿泊手配, 謝礼辞退
一般講演③(大塚製薬 笹原 克則 先生)	講演者(企業)	11月15日	要	要	—	謝礼辞退
一般講演④(マルホ 馬場廣海 先生)	講演者(企業)	11月15日	要	要	—	謝礼辞退
会長講演(杉山 雄一先生)	Speech, 講演者, 座長	11月15日	要	要	(会計幹事)	
一般講演⑤(国立衛研 内藤 幹彦 先生)	講演者	11月15日	要	要	確認済	遅れて到着
一般講演⑥(ソウル大学 Woojin Lee 先生)	講演者	11月15日	要	要	確認済	国内交通費65000円
基調講演(東京理科大 西川元也先生)	講演者、座長(シンポ2)	11月15日	要	要	確認済	
一般講演⑦(PMDA 本間 尚子 先生)	講演者	11月16日	不要	要	確認済	謝礼辞退
一般講演⑧(エーザイ 鈴木 裕太 先生)	講演者(企業)	11月15日	要	要	—	謝礼辞退
一般講演⑨(塩野義製薬 渡邊 郁剛先生)	講演者(企業)	11月15日	要	要	—	謝礼辞退
京都大学 山下 富義 先生	座長(シンポ1)	11月15日	要	要	確認済	
武田薬品工業 平林 英樹 先生	座長(シンポ1)	11月15日	要	要	—	謝礼辞退
静岡県立大学 吉成 浩一 先生	座長(シンポ1)	未定	不要	要	確認済	自宅から参加
田辺三菱製薬 加藤 晴敏 先生	座長(シンポ1)	11月15日	要	要	—	
塩野義製薬 長谷川 博司 先生	座長(シンポ2)	11月15日	要	要	—	謝礼辞退
千葉 常任幹事	座長(基調講演、ショーケース)	11月15日	要	要	—	
岩坪 常任幹事	座長(ショーケース)	11月15日	要	要	—	謝礼辞退
久米 常任幹事	座長(会長講演、展示ブース)	11月15日	要	要	—	

2. ショーケースに関する確認

・各演者は以下の項目を盛り込みスライド 3 枚丁度（タイトル除く）に纏めて 3-5 分でお話いただく。10 月末までに事務局へ提出していただく。

- ✓ 簡単な自己紹介（必須）
- ✓ 翌日の発表の骨子（必須、原則スライド 1 枚）
- ✓ 最近驚いたこと、感動したこと、幸せを感じたこと、趣味、メッセージ、など

・part1（18:05～18:30）：シンポジウム 1「AI, in silico 技術を活用した薬物動態および毒性の予測」
演者 5 名および杉山会長（杉山会長、藤本先生、遠山先生、半田先生、笹原先生、馬場先生の順）

- ・ part2 (18:30～18:50)：ミニシンポジウム「プロテアソームと創薬」演者およびシンポジウム 2「核酸医薬品開発を促進する薬物動態研究」演者 4 名 (Lee 先生、西川先生、鈴木先生、渡邊先生の順)

- ・ 事務局は昨年 of 杉山先生およびファイザー山崎先生のスライド (3 枚バージョン) を例として演者へ配布する (山崎先生了承済み)。

3. 意見交換会に関する確認 (島本 庶務幹事)

- ・ 意見交換会 (3 階「チェルシー」)：【司会進行：島本 庶務幹事】
- ・ 意見交換会の開始を 2017 年度よりも 20 分早め、19:25-21:15 までの 110 分間とする。(展示ブース会社によるプレゼン後のドリンクサーブ兼展示ブース見学を取りやめ、参加者間の交流の場としてより機能させるため。参加費を払っていない出展会社も意見交換会へ招待し(各社、原則 2 名まで)、名刺交換の機会として頂く。出展会社の了解も取得。)
- ・ 以下のような流れで進行する。
 - (1) 杉山会長の挨拶
 - (2) 中村祐輔 先生のご挨拶
 - (3) 乾杯：加藤名誉会長
 - (4) Lee 先生のご挨拶？
 - (5) 特別会員の先生のご挨拶&中締め (ご挨拶頂く先生は杉山会長と当日相談)
 - (6) 2 次会の案内：【久米常任幹事】

4. 展示ブースについて (島本 庶務幹事)

- ・ 昨年度と同様に 4 階ロビーにて展示ブースを設置する。最大で 8 小間を募集中。
- ・ 展示ブースプレゼンも昨年同様に実施 (ショーケースに続けて実施)
 - ✓ 各社 2 分の発表内容で資料作成を依頼する
- ・ 申し込み済み：5 件
 - ✓ 背板つき：富士通九州さん、神戸天然物さん (久米常任幹事アプローチ、非会員お試し参加)
 - ✓ 平台：フェニックスバイオさん、バイオタージさん、ブルカージャパンさん (長谷川企画副幹事アプローチ、非会員お試し参加)
- ・ 例年の出展企業で返事待ち：1 件
 - ✓ ネモトサイエンスさん → 本年は出展せず
- ・ お声掛け中の候補：1 件
 - ✓ 日立ハイテクさん → 本年は出展せず (D-PREX キット販売の準備が間に合わないため)

5. 今後の予定

- ・ 講演者からの要旨・略歴・交通経路など入手 (9 月 21 日)
- ・ ショーケース原稿依頼 (9 月 24 日)
- ・ PC/USB の確認(10 月中旬)
- ・ 要旨集の電子ファイル完成 (10 月下旬)
- ・ 要旨集製本完成 (10 月下旬)

- ・講演者、座長への最終確認（10 月下旬）
- ・連絡シート及び進行用原稿の作成（10 月下旬）
- ・関係者へ最終案内，到着予定時刻の確認（10 月下旬）
- ・ショーケース原稿入手（10 月末）
- ・年会（11 月 15～16 日）
- ・各講演者及び組織委員の先生方への御礼メール
- ・年会反省点の取りまとめ

協議事項：

- ・日立ハイテクさんの年会への参加について
 - ✓ 今年度の展示ブースの出展は見送りということですが、11 月年会に「お試し参加」が可能であれば、参加のご希望を頂いております。談話会への入会も検討されているとお聞きしております。なお今回お試し参加がかなうのであれば、来年度に展示ブース出展する際は、会員になられてからの本参加と理解しております（来年度のお試し展示ブース出展は認めない）。議論をお願いいたします。

【議題 6】2019-20 年幹事への打診状況

名簿順

ゼリア新薬工業	内諾済み
千寿製薬	内諾済み
大正製薬	内諾済み
大日本住友製薬	内諾済み

以上、4 社すべて決定しました。

現在、年会・幹事会への参加の可否を確認中。

10 月初旬に引継ぎ用資料を配布し、担当希望を聴取する予定。

<関係者への依頼事項・アクションリスト>

主幹事の皆様

引継ぎ用資料の更新作業をお願い致します（9 月末までに企画幹事まで送付ください）。

添付資料 1



薬物動態談話会 第 41 年会

次世代を育む薬物動態研究

2018 年 11 月 15 日(木) 16:30～19:15

会場：オークラアクトシティホテル浜松 4 階 平安 I-II

会長挨拶

16:30～16:40 薬物動態談話会会長 国立研究開発法人理化学研究所 杉山 雄一 先生

特別講演

座長 杉山 雄一 先生

16:40～17:40 「がんプレシジョン医療の現状と課題」

がん研究会・がんプレシジョン医療研究センター 中村 祐輔 先生

17:40～18:00 ウェルカムドリンク（ドリンクサーブ、展示ブース見学）

お飲物・おつまみを持って「ショーケース」へご参加ください

ショーケース “Happy Hour! ～Welcome Preview～”

翌日の演者の先生方にご登壇頂き、シンポジウムの予告を含む「ショーケース」を開催します。本セッションで先生方のお人柄を垣間見ること、この後の意見交換会や二次会での気軽なクロストーク、そしてシンポジウムでの活発なディスカッションに繋がっていただけたらと思います。

ファシリテーター 千葉 雅人 先生、岩坪 隆史 先生

18:00～18:05 趣旨説明

18:05～18:30 講演予告 part1

シンポジウム 1「AI, in silico 技術を活用した薬物動態および毒性の予測」

演者および杉山会長（6 名、各演者：3～5 分）

18:30～18:50 講演予告 part2

ミニシンポジウム「プロテアソームと創薬」演者およびシンポジウム 2「核酸医薬品開発を促進する薬物動態研究」演者（4 名、各演者：3～5 分）

展示企業によるブース紹介

ファシリテーター 久米 俊行 先生

18:50～19:05 ショートプレゼンテーション（1 社：2 分）

19:05～19:15 事務連絡

19:15～19:25 意見交換会会場に移動

19:25～21:15 意見交換会 (会場：3 階チェルシー)
(～23:00) (二次会, 会場：30 階パール)

2018 年 11 月 16 日(金) 6:30～ 朝食：2 階フィガロ 8:30～17:30 会場：4 階平安 I-II
--

基調講演

座長 千葉 雅人 先生
8:30～9:05 「ヒトのゲノム配列の解析と今後の課題；ゲノム解析の基礎、がんゲノム
研究、リキッドバイオプシーの個別化医療への応用」
京都大学 藤本 明洋 先生

シンポジウム 1

AI, in silico 技術を活用した薬物動態および毒性の予測

座長 吉成 浩一 先生
加藤 晴敏 先生
基調講演
9:05～9:40 「シミュレーションと AI を組み合わせた ADMET 予測と構造提案への展
開」
国立研究開発法人理化学研究所 本間 光貴 先生

9:40～10:10 「"CPathPred"を用いた薬物の消失経路推定の検証および活用」
武田薬品工業株式会社 遠山 季美夫 先生

10:10～10:30 コーヒーブレイク

座長 山下 富義 先生
平林 英樹 先生
10:30～11:00 「組織血漿分配係数 (K_p 値) の機械学習予測」
帝人ファーマ株式会社 半田 耕一 先生

11:00～11:30 「薬物動態予測システムを用いた 0 次スクリーニング～CYP3A4 阻害予測
を例に～」
大塚製薬株式会社 笹原 克則 先生

11:30～12:00 「薬物の経皮吸収性予測のための機械学習アプローチ」
マルホ株式会社 馬場 廣海 先生

12:00～12:10 薬物動態談話会からのお知らせ (関連学会、セミナー等)

12:10～13:00 昼食 (会場：4 階平安 III)

会長講演

- 座長 久米 俊行 先生
13:00～13:40 「血中暴露、組織中暴露量を支配する肝クリアランス、消化管アベイラビリティ(FaFg)、標的臓器における結合、代謝、輸送の解析」
国立研究開発法人理化学研究所 杉山 雄一 先生

ミニシンポジウム

プロテアソームと創薬

- 座長 杉山 雄一 先生
13:40～14:20 「細胞内の標的タンパク質を特異的に分解するプロテインノックダウン法の開発」
国立医薬品食品衛生研究所 内藤 幹彦 先生
14:20～14:50 「Atypical pharmacokinetics of proteasome inhibitor drugs: Impact of the proteasome target abundance and dissociation rates」
Seoul National University Woojin Lee 先生

- 14:50～15:10 コーヒーブレイク

シンポジウム 2

核酸医薬品開発を促進する薬物動態研究

- 座長 西川 元也 先生
基調講演 長谷川 博司 先生
15:10～15:45 「核酸医薬の体内動態とその制御」
東京理科大学 西川 元也 先生

- 15:45～16:15 「核酸医薬品の承認審査における薬物動態評価」
独立行政法人医薬品医療機器総合機構 本間 尚子 先生

- 16:15～16:45 「核酸送達キャリア生分解性脂質ナノ粒子の開発」
エーザイ株式会社 鈴木 裕太 先生

- 16:45～17:15 「リガンド修飾核酸の PKPD モデリング」
塩野義製薬株式会社 渡邊 郁剛 先生

事務連絡

- 17:15～17:30 事務連絡



薬物動態談話会 第41年会

日程： 2018年11月15日（木）～16日（金）

次世代を育む薬物動態研究

特別講演：「がんプレシジョン医療の現状と課題」

がん研究会・がんプレシジョン医療研究センター 中村 祐輔

会長講演：「血中薬濃、組織中薬濃度を支配する肝クリアランス、消化管アベイラビリティ (FaFg)、標的臓器における結合、代謝、輸送の解析」理化学研究所 杉山 雄一

基調講演1：「ヒトのゲノム配列の解析と今後の課題；ゲノム解析の基礎、がんゲノム研究、リキッドバイオプシーの個別化医療への応用」 京都大学 藤本 明洋

シンポジウム1：AI, in silico技術を活用した薬物動態および毒性の予測

基調講演2：「シミュレーションとAIを組み合わせたADMET予測と構造提案への展開」

理化学研究所 本間 光貴

「CPathPred」を用いた薬物の消失経路推定の検証および活用」

武田薬品工業株式会社 遠山 季美夫

「組織血漿分配係数 (Kp値) の機械学習予測」 帝人ファーマ株式会社 半田 耕一

「薬物動態予測システムを用いた0次スクリーニング～CYP3A4阻害予測を例に～」

大塚製薬株式会社 笹原 克剛

「薬物の経皮吸収性予測のための機械学習アプローチ」 マルホ株式会社 馬場 廣海

ミニシンポジウム：プロテアソームと製薬

「細胞内の標的タンパク質を特異的に分解するプロテインノックダウン法の開発」

国立医薬品食品衛生研究所 内藤 幹彦

「Atypical pharmacokinetics of proteasome inhibitor drugs: Impact of the proteasome target abundance and dissociation rates」 Seoul National University Woon Lee

シンポジウム2：核酸医薬品開発を促進する薬物動態研究

基調講演3：「核酸医薬品の体内動態とその制御」 東京理科大学 西川 元也

「核酸医薬品の承認審査における薬物動態評価」医薬品医療機器総合機構 本間 尚子

「核酸送達キャリア生分解性脂質ナノ粒子の開発」 エーザイ株式会社 鈴木 裕太

「リガンド修飾核酸のPKPD モデリング」 塩野義製薬株式会社 渡邊 郁剛

ショーケース（11月15日18:00～）“Happy Hour! ～Welcome Preview～”

翌日の各講演の予告と演者紹介を兼ねた座談会です。グラスを片手にご参加を！

参加費： 30,000円（宿泊費込、会員会社限定）

初日のみ参加（8,000円）、2日目のみ参加（10,000円）も可

会場： オークラアクトシティホテル浜松

JR浜松駅メイン改札口東口より、徒歩3分（Tel. 053-459-0111）

薬物動態談話会HP、会員専用サイトで受付；

参加申込み受付中。 <http://danwakai.jp/> 年間予定より

連絡先：薬物動態談話会 企画幹事（第一三共株式会社）

安部 康司 abe.koji.ce@daichisankyo.co.jp

